

平成29年9月19日

会員各位

神奈川県臨床工学技士会
会長 小林 剛志
組織委員長 小川 浩之

あなたの提案を実現させてみませんか！

(医療機器・周辺設備の問題・改善の提案を挙げてください)

会員各位におかれましては、日頃より当会の活動にご理解をいただき誠にありがとうございます。

当会と（公財）横浜企業経営支援財団（IDEC）は、平成29年9月1日に医工連携を推進するために協定書を交わしました。

国内には、優れた技術を持っている企業が多数存在し、その技術の中には医療分野への転用が可能な技術も多数存在すると推定されますが、本邦の医療機器産業は輸入額が輸出額を大幅に上まっております日本の「ものづくり技術」を活かしきれていない状況があります。その原因の一つとして「医療現場が有する課題・ニーズがものづくり現場に行き届いていない」ことが挙げられています。

実際に企業が医療機器分野への参入や機器開発に取り組む際に、医療機器に関する知識不足や医療現場とのコミュニケーションが難しく事業化に至らないという課題があります。この状況に対して当会は、（財）横浜企業経営支援財団（IDEC）と協力して医工連携活動を推進し、医工連携セミナーへの講師派遣、企業の施設見学を実施しています。

今後は、今までの活動に加え、会員の皆様からのニーズをものづくり現場に届けるための抽出活動と、医療機器の開発に関する評価体制の構築を活動の目標としています。

会員の皆様には、積極的に医療機器や周辺設備に関する開発・改善の提案を提出していただき、現状の改善と医療の発展にご協力をいただきたくお願いを申し上げます。会員の皆様からの多くの提案が具現化されることを期待しています。

提案の方法

当会HPに掲載されている「横浜医工連携推進事業 現場の課題回答シート」に課題・困りごと・あったらいいと思う機器・器具、サービスなどを記載していただき下記のメールアドレスまで送付してください。

「（公財）横浜企業経営支援財団 技術支援担当 佐保、土屋 E-mail : y-ikou@idec.or.jp」